

[成果情報名] ブドウ「シャインマスカット」の成熟や果房重は着果位置や樹齢によって異なる

[要約] ブドウ「シャインマスカット」の一文字短梢剪定樹では、果房の成熟は主枝の枝齢が若い部位から古い部位へ進み、果房重は樹齢が進むにつれて重くなる。

[キーワード] シャインマスカット、一文字短梢剪定、枝齢、果実品質、成熟

[担当]秋田県果樹試験場

[代表連絡先]電話 0182-25-4224

[区分]東北農業・果樹

[分類]研究成果情報

[背景・ねらい]

「シャインマスカット」の一文字短梢剪定樹において、着果位置や樹齢による果実品質の違いを明らかにし、その特性に基づいた適切な栽培管理方法を確立することで、商品性の高い果実生産を可能にする。

[成果の内容・特徴]

1. 主枝枝齢が若い部位の果房ほど果皮色指数が高く、酒石酸含量が少ないことから、成熟は主枝枝齢が若い部位の果房が早い（図1、表1）。
2. 定植後6年目までは、年次別の全主枝枝齢平均果房重は、樹齢が進むにつれて増加する（図1、表1）。
3. 定植後6年目までは、同一主枝枝齢部位に着果した果実の果房重は、その部位の枝齢が進むにつれて増加する（表1、2010年時の主枝枝齢2年枝部位は2011年では3年生部位、2012年では4年生部位、2013年では5年生部位に相当する）。
4. 2012年以降の成木における主枝枝齢毎の1粒重は、4年枝部位の果房の1粒重が重い（表1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 成木では、主枝先端部の果房と基部の果房では、収穫期が異なることに留意する。
2. 花穂整形や摘房、摘粒は、主枝先端部の花（果）房から始める。
3. 樹齢が進むと果房が大きくなるので、着果過多や糖度低下に留意する。

[具体的データ]

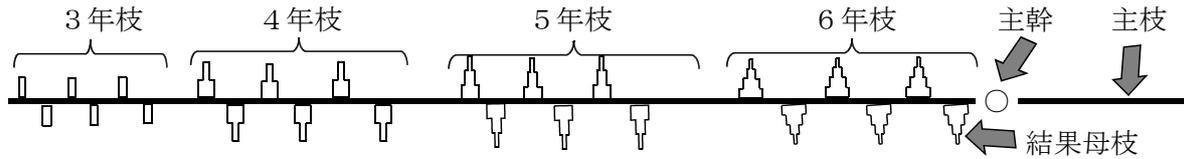


図1 一文字短梢剪定樹（総主枝長25m）の主枝枝齢と結果母枝の構成（2013年）

注）シャインマスカット／テレキ5 BBを2008年4月に定植

2008～2010年は無施肥、2011年は4 kgN/10a、以降は6 kgN/10a相当の化学肥料を9月下旬に施用
試験圃場は表層腐食質多湿黒ボク土

表1 主枝の枝齢と果実品質

年次	主枝枝齢	調査果房数 (個)	果房重 (g)	果皮色 ^γ (c. c.)	着粒数 (個)	1粒重 (g)	糖度 (%)	酒石酸 (%)
2010年	2年枝 ^z	10	149 ^{ns}	3.8 ^{ns}	19.1 ^{ns}	7.2 ^{ns}	19.3	0.248
	3年枝	10	182	3.6	17.8	8.3	18.1	0.309
	平均		166	3.7	18.5	7.8	18.7	0.279
2011年	2年枝	10	441 ^{ns}	3.3 ^b	45.2 ^a	9.4 ^{ns}	17.1 ^a	0.194 ^a
	3年枝	10	468	3.2 ^{a,b}	45.5 ^a	9.8	17.1 ^a	0.253 ^b
	4年枝	10	492	3.0 ^a	55.0 ^b	8.7	18.3 ^b	0.296 ^c
	平均		467	3.2	48.6	9.3	17.5	0.248
2012年	2年枝	10	474 ^a	5.4 ^c	48.9 ^{ns}	9.3 ^a	23.3 ^b	0.206 ^a
	3年枝	10	496 ^{a,b}	4.3 ^b	46.1	10.4 ^{a,b}	21.6 ^a	0.246 ^a
	4年枝	10	570 ^b	3.6 ^a	50.1	11.1 ^b	20.7 ^a	0.308 ^b
	5年枝	10	542 ^{a,b}	3.5 ^a	48.5	10.8 ^b	20.8 ^a	0.307 ^b
	平均		521	4.2	48.4	10.4	21.6	0.267
2013年	3年枝	12	681 ^b	4.2 ^c	53.6 ^b	12.5 ^a	19.4 ^b	0.254 ^a
	4年枝	12	738 ^b	4.0 ^{b,c}	50.3 ^{a,b}	14.3 ^b	18.2 ^a	0.269 ^{a,b}
	5年枝	12	701 ^b	3.7 ^b	50.2 ^{a,b}	13.4 ^{a,b}	17.9 ^a	0.317 ^b
	6年枝	12	605 ^a	3.2 ^a	47.6 ^a	12.8 ^a	17.4 ^a	0.380 ^c
	平均		681	3.8	50.4	13.3	18.3	0.305

^z 主枝延長上の結果母枝（長梢剪定部位）

^γ 2010～2011年は農林水産省黄緑色系ブドウ品種用カラーチャートを用、2012年以降は秋田県版シャインマスカット専用カラーチャートを使用

その他注意事項

2010年の表中の符号はt検定（P<0.05）でnsは有意差なし、符号なしは検定していない

2011年以降の表中の異なる符号間にはTukeyの多重検定法（P<0.05）で有意差あり

調査果房数は2樹の合計

調査果房は各年次において、全て同一日に収穫

簡易被覆トンネル栽培

無核栽培とし、2回のジベレリン処理時のホルクロルフェニユロン濃度は5 ppm

着果量は0.6～0.7果/1新梢に調整

2011年以降は着粒数は50粒をめどに調整し、被袋後も未熟果粒や縮果症果粒等を随時摘粒

（船山瑞樹）

[その他]

研究課題名：「シャインマスカット」の一文字短梢整枝法による大粒無核栽培法の確立

予算区分：県単

研究期間：2008～2013年度

研究担当者：船山瑞樹、中澤みどり